標 準 治 療 計 画 表

適応基準	除外基準	アウトカム
気管支喘息と診断されJPGL基準で中発作以上の発作がみとめられる場合	気管支喘息と診断を受けているが教育目的の入院の場合	①□咳嗽・喘鳴・陥凹呼吸が十分に消失し呼吸数が正常に戻っていること ②□SPO2が夜間睡眠中を含めSPO2 95%以上で安定していること ③□家族や患児が今後の治療継続や外来受診について理解されていること ④□退院後の継続治療について医師の治療方針がきちんと家族や患児に示されていること

氏名　　(　　)才　部屋番号　　号　診断名:気管支喘息　　主治医:　　Dr　受持看護師:　　Ns

歴　日	／　(　)			／　(　)			／　(　)			／　(　)		
病　日	1日目			2日目			3日目			4日目		
検査 B2　緊13　CRP　血沈　ﾃｵﾌｨﾘﾝ濃度　ﾏｲｺﾌﾟﾗｽﾞﾏ抗体　ｸﾗﾐｼﾞｱIgG,A　百日咳抗体　尿R 咽頭培養　鼻汁RS抗原　鼻汁インフルエンザ抗原 胸部レントゲン（正面，2方向）胸部CT予約（　／　）検査時ﾄﾘｸﾛﾘｰﾙ　ml												
治療 1) 初期負荷輸液　SD1 200ml　生食　100ml ﾈｵﾌｨﾘﾝ　ml　(　/H) 2) 持続点滴　SD3A　500ml　ﾈｵﾌｨﾘﾝ　ml　(　/H) (　本/日　本日　本)　(　/　～　/　) 3) 臨時負荷　ﾈｵﾌｨﾘﾝ　ml　1時間で 4) 時間注射 mg　生食　5ml (　本/日　本日　本)　(　/　～　/　) ﾌﾟﾚﾄﾞﾆﾝ　mg　生食　5ml (　本/日　本日　本)　(　/　～　/　) 5)内服												
6) 定期吸入　－　号　1日　回吸入　3時□ 7) 吸入ステロイド開始予定(有 ・ 無)　7時□ 8) 酸素投与　SpO2＞95を維持	11時□ 15時□	19時□ 23時□	3時□ 7時□	11時□ 15時□	19時□ 23時□	3時□ 7時□	11時□ 15時□	19時□ 23時□	3時□ 7時□	11時□ 15時□	19時□ 23時□
特別指示 □発熱時(38.5℃以上)、疼痛時 ｱﾙﾋﾞﾆｰ　mg坐　ｹ ｶﾛﾅｰﾙ　mg　6時間あけて □喘息発作時 臨時吸入　－　号　1時間あけて SpO2＞95になるようにO2投与 R　P　T 60　140　40 50　120　39 40　100　38 30　80　37 20　60　36												
排泄	尿　/　尿便　/　便　/			尿　/　尿便　/　便　/			尿　/　尿便　/　便　/			尿　/　尿便　/　便　/		
体重												
咳嗽												
喘鳴	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
ラ音	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
部位	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
呼吸音	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
スコアー	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
SpO2	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
鼻汁/鼻閉												
処置 BP : 入院時のみ・ ( ) 回/日・( )回/週 WT: 入院時のみ・ ( ) 回/日・( )回/週 体温 (　時間ごと) ・ 4検 尿測 (要，不要)												
安静　ベッド上　トイレ歩行　プレイルーム (点抜後、解熱後、可、不可)				ベッド上　トイレ歩行　プレイルーム			ベッド上　トイレ歩行　プレイルーム			ベッド上　トイレ歩行　プレイルーム		
保清　B. B　シャワー　入浴　(点抜後、解熱後、可、不可)				B. B　シャワー　入浴			B. B　シャワー　入浴			B. B　シャワー　入浴		
食事　絶食　常食 付添食　有/無 (　/　～)	主　副 ／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
退院基準 #1 持続的に呼吸音が清明となり、呼吸困難がない。 #2 疾患、治療内容について理解できており、在宅治療が可能である。				② 疾患の理解がなされ、治療および検査に協力できる。 次回評価日 (　／　)			① 対症療法で発熱、呼吸苦等が軽減されている。 次回評価日 (　／　)					
指導												
退院指導 #1 自己チェック #2 疾患について #3 治療方法について #4 日常生活の注意点 #5 服薬指導												
パスへの影響												
中止・・・パスの基準を逸脱し影響が大きいのでパスを中止	有 ・ 無			有 ・ 無			有 ・ 無			有 ・ 無		
変更・・・パスの内容の指示に修正を加えた(影響は小さいので継続)	有 ・ 無			有 ・ 無			有 ・ 無			有 ・ 無		
延長・・・パスの設定日数以上の入院	有 ・ 無			有 ・ 無			有 ・ 無			有 ・ 無		
サイン	深	日	準	深	日	準	深	日	準	深	日	準

標 準 治 療 計 画 表

氏名　　(　　)才　部屋番号　　号　診断名:気管支喘息　　主治医:　　Dr　受持看護師:　　Ns

歴　日	／　(　)			／　(　)			／　(　)			／　(　)		
病　日	日目			日目			日目			日目		
検査												
治療 1) 持続点滴　SD3A 500mlﾈｵﾌｨﾘﾝ ml　(　/H) (　本/日)　(　/　～　/　) 2) 臨時負荷　ﾈｵﾌｨﾘﾝ　ml　1時間で 3) 時間注射 mg　生食 5ml (　本/回)　(　/　～　/　) ﾌﾟﾚﾄﾞﾆﾝ　mg　生食 5ml (　本/回)　(　/　～　/　) 4)内服 5) 定期吸入　－　号 1日　回吸入 6) 吸入ステロイド開始予定(有 ・ 無) 7) 酸素投与　SpO2＞95を維持	3時□ 7時□	11時□ 15時□	19時□ 23時□	3時□ 7時□	11時□ 15時□	19時□ 23時□	3時□ 7時□	11時□ 15時□	19時□ 23時□	3時□ 7時□	11時□ 15時□	19時□ 23時□
特別指示 前項参照 R　P　T 60　140　40 50　120　39 40　100　38 30　80　37 20　60　36												
排泄	尿　/　尿便　/　便　/			尿　/　尿便　/　便　/			尿　/　尿便　/　便　/			尿　/　尿便　/　便　/		
体重												
咳嗽												
喘鳴	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
ラ音	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
部位	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
呼吸音	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
スコアー	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
SpO_2	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
鼻汁/鼻閉												
処置												
安静　ベッド上　トイレ歩行　プレイルーム（点抜後、解熱後、 可、不可）				ベッド上　トイレ歩行　プレイルーム			ベッド上　トイレ歩行　プレイルーム			ベッド上　トイレ歩行　プレイルーム		
保清　B. B　シャワー　入浴　（点抜後、解熱後、 可、不可）				B. B　シャワー　入浴			B. B　シャワー　入浴			B. B　シャワー　入浴		
食事　絶食　常食 付添食　有/無（　/　～）	主　副 ／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
退院基準 ＃1 持続的に呼吸音が清明となり、呼吸困難がない。 ＃2 疾患、治療内容について理解できており、在宅治療が可能である。												
指導												
退院指導 ＃1 病気について ＃2 喘息発作時、咳嗽時の対処方法 ＃3 服薬指導												
パスへの影響												
中止・・・パスの基準を逸脱し影響が大きいのでパスを中止	有 ・ 無			有 ・ 無			有 ・ 無			有 ・ 無		
変更・・・パスの内容の指示に修正を加えた(影響は小さいので継続)	有 ・ 無			有 ・ 無			有 ・ 無			有 ・ 無		
延長・・・パスの設定日数以上の入院	有 ・ 無			有 ・ 無			有 ・ 無			有 ・ 無		
サイン	深	日	準	深	日	準	深	日	準	深	日	準